

全 自 柔 連 第 1 号
令和6年10月10日

駐屯地・基地司令
殿
部隊・機関等の長

全国自衛隊柔道連盟会長

第46回防衛大臣杯全国自衛隊柔道大会開催について（通知）

秋涼の候、貴隊におかれましては益々ご清祥のことと、慶賀に存じます。

また、平素は全国自衛隊柔道大会に対し格別のご芳情を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度「第46回防衛大臣杯全国自衛隊柔道大会」を別冊「第46回防衛大臣杯全国自衛隊柔道大会実施要項」のとおり、開催することとなりましたのでお知らせします。

つきましては、隊務ご多忙中とは存じますが、自衛隊柔道振興発展のため、選手等の派遣をお願いしますとともに、御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

添付書類：別冊「第46回防衛大臣杯全国自衛隊柔道大会実施要項」

第46回防衛大臣杯全国自衛隊柔道大会実施要項

全国自衛隊柔道連盟

令和6年10月10日

第46回 防衛大臣杯全国自衛隊柔道大会実施要項

1 目 的

自衛隊における柔道の振興と技量の向上を図るとともに、相互の親睦と団結の強化に資する。

2 日 程

- (1) 令和7年2月14日（金）
0900 大会会場設営
1600 全国自衛隊柔道連盟総会及び監督会議
1630～1700 団体戦2部計量
- (2) 令和7年2月15日（土）団体戦1部・2部
0700～0730 団体戦2部計量
0915 選手集合
0930 開会式
1000 試合開始
1430 表彰式
1500～1530 個人戦計量
1530 昇段審査（予定）
- (3) 令和7年2月16日（日）個人戦
（男子体重別、年齢別、女子）
0700～0730 個人戦計量
0900 試合開始
1600 閉会式
1630 大会終了予定
1630 以降大会会場撤収

3 会 場

自衛隊体育学校 三宅記念体育館
〒178-8501 東京都練馬区大泉学園町 朝霞駐屯地
TEL：048-460-1711
部内専用線：8-37-4682

4 主 催

全国自衛隊柔道連盟

5 後 援

公益財団法人 講道館
公益財団法人 全日本柔道連盟

6 参加資格

- (1) 防衛省に所属し、全日本柔道連盟に登録している者
駐屯地・基地単位で、全日本柔道連盟2024年度会員登録証に記載されているメンバーIDを記入した参加者一覧名簿を作成・提出

別紙第1-1「第46回 防衛大臣杯全国自衛隊柔道大会申込書（団体）」

別紙第1-2「第46回 防衛大臣杯全国自衛隊柔道大会申込書（個人）」

- (2) 駐屯地及び基地単位で2チーム以内、2部は1チームとし、選手は2チーム以上に属することはできない。但し、選手と監督を兼務することができる。欠員可とする。
- (3) 連盟依頼の審判員以外に選手を5名以上出場させているチームは原則として1名の審判員（ライセンス「C」以上）を差し出すこと。（別紙第1に個人名を記入）
- (4) 個人戦は、1人1種目のみとし、本年度の全日本実業柔道個人選手権大会に出場していない者（全日本実業柔道団体対抗大会及び全日本実業個人選手権大会個人戦22歳以下の部、各地区の実業団大会の参加者を除く。）
- (5) 試合結果等をインターネット上に公開するため、名前等の公開に同意する者

7 参加申込

令和6年12月13日（金）の締め切りを厳守の上、連盟ホームページから申込書をダウンロードし、必要事項を入力後メールで送信する。

[メールアドレス] jsdfjudo@yahoo.co.jp

[ホームページ] <http://zenjijudo.org/>

[不明事項がある場合の連絡先] 体育学校 准陸尉 向井 孝之

090-8503-7310

8 参加料

- (1) 団体戦1チーム22,000円、個人戦1人3,000円とし、原則下記の口座へ振り込みによる支払いを実施することとする。また、振り込みの際には、事務局で送付先相手を確認できるように必ずチーム名又は駐屯地・部隊名を明記し、電話でも連絡すること。参加費は納入後いかなる場合も返金しない

[振込先]

ゆうちょ銀行 記号 10340 番号 87315421

口座名義：全国自衛隊柔道連盟

又は

埼玉りそな銀行 和光支店 口座番号 普通 4001847

- (2) 振込期限：令和6年12月13日（金）
- (3) 別紙第2「第46回 防衛大臣杯 全国自衛隊柔道大会参加費内訳」

9 試合種目

- (1) 全 般

試合種目は、団体戦第1部、団体戦第2部、男子個人戦-60kg、-66kg、-73kg、-81kg、-90kg、無差別級の6階級、女子個人戦体重別又は無差別級、男子年齢別個人戦30～34歳、35～39歳、40～44歳、45歳以上の4階級とする。

なお、女子個人戦体重別は、参加申し込み状況により設定の有無及び設定する場合の階級区分を決定する。

- (2) 団体戦

ア チーム編成は、第1部（選手8名、監督1名）計9名、第2部（選手5名、監督1名）計6名とする。

イ 第1部は、登録された選手8名のうち5名が試合に出場する。選手は試合ごとに選手8名から自由に配列、選択ができる。

（一度退いた選手も再出場できる。）

ウ 第2部は、先鋒-73kg、中堅-90kg、大将無差別の体重別団体戦とする。それぞれの体重区分は上限とし、上限より軽い体重の者は出場できる。選手の変更は試合ごとに認めるが先鋒及び中堅においては、上限体重の条件を満たす者に限る。先鋒-73kg で登録した選手は全区分、中堅-90kg で登録した選手は中堅及び大将の区分、大将無差別で登録した選手は大将の区分で出場できる。

エ 第2部に出場する選手の計量は、令和7年2月14日（金）1630～1700及び令和7年2月15日（土）0700から0730まで自衛隊体育学校三宅記念体育館において先鋒及び中堅で登録した者は本計量1回を行う。試合に出場するには、いずれかの日時に必ず計量を受けて合格する必要がある。（この際、本人確認の為、身分証明証を携行すること。）不合格者は出場できない。なお、本計量以前の仮計量は随時可とする。

(3) 個人戦

ア 年齢別は、大会当日の満年齢によるものとする。

イ 選手の計量は、令和7年2月15日（土）団体戦表彰式終了後（1500～1530予定）及び2月16日（日）0700から0730の間自衛隊体育学校三宅記念体育館において本計量1回を行う。試合に出場するには、いずれかの日時に必ず計量を受けて合格する必要がある。

（この際、本人確認の為、身分証明証を携行すること。）不合格者は出場できない。なお、本計量前の仮計量は随時可とする。

10 試合方法

(1) 試合方法は、トーナメント方式で行い、優勝、準優勝、第3位を決定する。女子個人戦及び年齢別については参加選手数により、試合方法を変更する場合がある。

(2) 団体戦の勝敗は、次の順序と内容により決定する。

ア 勝者数の多いチームを勝ちとする。

イ アで同数の場合は一本勝ち、不戦勝ち、棄権勝ち、相手の反則負けによる勝者の多いチームを勝ちとする。

ウ イで同数の場合は、「技有」による勝者の多いチームを勝ちとする。

エ ウで同数の場合は、任意で選出した選手による代表戦を行う。更に代表戦が引き分けの場合は時間無制限のゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。最初の技及び反則によりスコアを得た選手が勝者となる。

(3) 個人戦は、時間無制限のゴールデンスコア方式の延長戦を行い、勝敗を決する。

(4) 試合時間

ア 団体戦及び団体戦代表戦の試合時間は3分間、ただし決勝戦は、4分間とする。

イ 個人戦（年齢別、無差別級を除く。）の試合時間は4分間とする。年齢別及び無差別級の個人戦は決勝を含め3分間とする。

(5) オーダー受付

ア 1回戦のオーダーは、1部・2部ともに0830までに大会本部まで提出する。

イ 2回戦以降は対戦相手決定後5分以内に提出する。5分経過後は自動的に前回戦のオーダーとなる。

11 審判規定等

(1) 審判規定

国際柔道連盟試合審判規定（2022～2024）及び全国自衛隊柔道大会申し合わせ事項による。審判規定及び申し合わせ事項については、監督会議において説明する。

(2) 柔道衣

ア 2015年からの全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上下／赤文字・赤粋）（帯／赤文字又は黒文字・赤粋又は青粋）を着用しなければ大会に出場できない。

イ 柔道衣は白色のみを使用する。帯は黒帯又は白帯のみとし、女子の白線入りの帯は認めない。

ウ 柔道衣の大きさ又は規格が規定に合わない場合は出場を認めない。選手は試合場に入る前までに自己責任の下で主催者が用意した「柔道衣測定器」で柔道衣の大きさを確認しなければならない。試合開始後に疑義があった場合、審判員は「柔道衣測定器」を用いて検査するとともに、違反が認められる場合は当該選手を「反則負け」とする。

(3) 「ゼッケン（名字とチーム名入り）ヨコ 30±3cm タテ 22±3cm」を柔道衣に着用する。布地は白地（晒 太綾）、名字（姓）は上側 2/3、チーム名は下側 1/3 に横書き、書体は明朝体、太いゴシック体または楷書体を用いること。縫い付けの位置は後襟から 10cm 下部とし、対角線にも強い糸で縫い付けるものとする。なお、現在所属するチームのゼッケンが上記の通りに着用されていない選手は出場できない。

12 審判

(1) 審判員は、全国自衛隊柔道連盟の委嘱（審判ライセンス区分及び申し合わせ事項に関する各統制、定年年齢管理の容易性から練馬区柔道会及びA級以上の審判資格を有する自衛隊OBに委嘱）及び5名以上の選手を出場させている基地・駐屯地の代表現職（部内審判育成の観点）自衛官（C級以上の審判資格を保有、原則1名）によるものとする。委嘱の調整のため、参加部隊は「大会審判員届」により令和6年12月13日（金）までに審判員を届け出るものとする。

(2) 審判会議を令和7年2月15日（土）0900及び令和7年2月16日（日）0840から自衛隊体育学校三宅記念体育館内会議室において行う。審判員は時間に併せて集合するものとする。

(3) 審判員は、指定審判服を着用する。

(4) 別紙第3「大会審判員届」

13 表彰

(1) 団体第1部及び第2部優勝チームには、防衛大臣杯・優勝旗・賞状・メダル、第2位及び第3位のチームには賞状・メダルを授与する。

(2) 個人戦の優勝者、第2位及び第3位に賞状・メダルを授与する。

(3) 団体及び個人戦の優秀選手それぞれ1名選出し、大会会長杯・賞状を授与する。

(4) 特別賞として、柔道本来の姿である体重無差別を奨励する意味で個人戦の男女の無差別級の優勝者に防衛副大臣杯を授与する。

(5) 各階級の参加人数により表彰人数を変更する場合がある。

14 全国自衛隊柔道連盟総会及び監督会議

- (1) 令和7年2月14日（金）1600から1700まで「自衛隊体育学校三宅記念体育館内会議室」において行うので、各チームの監督もしくは代表者は必ず出席すること。
- (2) 総会及び監督会議に諸事情により参加できないチームは、委任状を提出すること。
- (3) 別紙第4「委任状」

15 選手変更・追加

- (1) あらかじめ定めた選手が申込書提出以降に事故及び事情により出場不可能となった場合、チーム2名を限度に選手変更ができる。この際、その理由（診断書、訓練参加を証明する個名の写し等）を付して大会事務局に届けて、その承認を受けるものとする。
- (2) 受付時期及び場所は、監督会議終了後の令和7年2月14日（金）1700から1730まで「自衛隊体育学校三宅記念体育館内会議室」又は、試合当日の令和7年2月15日（土）0700から0730まで「試合会場」とする。

16 開閉会式

- (1) 団体戦参加選手は、全員が柔道衣を着用し「開会式」に参列すること。
- (2) 令和7年2月15日（土）は、団体戦終了後「団体戦表彰式」を実施するので入賞チームは必ず柔道衣を着用し「表彰式」に参列すること。
- (3) 「閉会式」には、団体戦及び個人戦の参加選手は全員参列すること。この際、個人戦入賞者は柔道衣を着用すること。

17 功労隊員等の推薦

- (1) 本大会に永年貢献し、第47回大会（令和8年2月予定）までに定年になる自衛隊員の推薦
- (2) 本大会に永年貢献された部外者の推薦
- (3) 別紙第5「連盟表彰（感謝状・顕彰）推薦書」（部外者については本別紙を準用）※ 各チーム功績・貢献等を十分考慮して選考、推薦されたい。（役員・審判員等）

18 講道館杯出場者の選考基準

- (1) 次の基準を満たす者から全国自衛隊柔道連盟が出場選手を選考する。
 - ア 男子は年齢別及び無差別級を除く各階級優勝者
 - イ 女子は、個人戦の優勝者
 - ウ 令和7年講道館杯開催時点で、現職自衛官であること。
- (2) 欠場は基本的には認めない。ただし、災害派遣、教育入校、遠洋航海等の任務及び重度の怪我、突発的な疾患等が発生し出場が困難で欠場する際、所属部隊の監督等は、講道館杯欠場届を作成し全国自衛隊柔道連盟事務局に送付（怪我、疾病等の場合は医師の診断書を同封）するものとする。

19 宿泊・給食・外出等

- (1) 宿泊を希望するチームは、別紙第6-1「宿泊予定表」を提出すること。
期間は、原則として2月12日（水）から2月17日（月）朝までとする。

ただし最終日の宿泊は、朝の外来最終清掃及び管理人による点検に立ち合いができるチームに限る。

宿泊可能数に限度がある為、審判員及び勤務員差出し人数が多いチームを優先する。宿泊不可な場合は連盟から連絡する。

- (2) 給食はチーム毎、朝霞駐屯地業務隊に依頼すること。ただし、大会当日（15日及び16日）の弁当が必要な部隊は別紙第6-2「昼食（有料弁当）希望表」を連盟に提出すること。支払いは、弁当受領時とする。
- (3) 外出について、朝霞駐屯地泊の営内者及び曹営外者の外出は原隊の外出証（上陸証等）のみ必要、朝霞駐屯地の外出証は必要なし。
- (4) 入出門について、到着初日及び帰隊時は、命令文等を提示しチームごと通門すること。また、深夜～早朝（2400～0600）の間に帰隊するチームについては、必ず別紙第6-1の朝霞出発予定日時に入力するとともに、チームの代表者は、平日は朝霞駐屯地司令業務室、休日は朝霞駐屯地当直司令室に行き所要の手続きを行うこと。

20 大会参加選手の応援について

防衛省職員以外の方が選手の応援に来る場合、各人毎、警衛所で面会手続きを行うこと。

※ 細部については別示する。

21 大会受付・会場準備・会場撤収

(1) 大会受付

ア 日 時

令和7年2月14日（金）監督会議時

イ 場 所

自衛隊体育学校 三宅記念体育館

(2) 会場準備

ア 日 時

令和7年2月14日（金）0900～1200

イ 場 所

自衛隊体育学校 三宅記念体育館

ウ 実施部隊

大会参加者全員

(3) 会場撤収

ア 日 時

令和7年2月16日（日）閉会式終了後

イ 実施部隊

大会参加者全員

ウ 実施要領

(ア) 閉会式終了後、大会本部前に集合、点呼後撤収要領について連絡する。

(イ) 撤収完了後、各部隊代表者は大会本部前に集合し点呼後解散とする。

- (4) 当日準備・撤収に参加できない部隊は、会場準備・撤収免除申請書に必要事項を記入し、提出すること。別紙第7「会場準備・撤収免除申請書」

※ 大会参加とは会場準備から会場撤収までのことである。各チームの責任者及び監督はその趣旨を理解し部隊内外との調整等を進められたい。